



NPO PTPL “ともいき” 便り No.88

平成 27 年 (2015 年) 11 月 23 日発行

■小雪 (しょうせつ) 11 月 23 日から 12 月 6 日までの節気

商店街のあちこちに、クリスマスの飾りを見かけるようになりました。お店に入ったら、クリスマスソングが流れていたのには驚きました。季節は「小雪」。「高い山に初雪が降って、白く輝くころ。朝、息が白くなるころ」です。まだ 11 月。クリスマスにはちょっと早すぎるように思いますが、みなさまのお住まいのところは、いかがでしょうか。

近所のお宅に、大きなゆずの木があります。黄色い実が、たわわになっています。ここのご主人は、七夕になると、庭の笹竹を「ご自由にどうぞ」と紙に書いて、玄関先においてくれます。冬至が近づくと、ゆずもです。私もゆずをいただきます。ありがたいことです。もっと季節が進むと、木にひとつだけ柿の実やゆずを残してある風景を見ることがあります。それを「木守り」といいます。来年もたくさん実がなるようにという願いをこめて一つ残す、あるいは、人間が全部食べてしまうのではなく、冬、食べ物が少なくなる鳥たちのために残す、などの意味があるそうです。優しい木守柿、木守ゆずの風景です。

寒くなると、ほっと暖かな小春日和が嬉しいものです。我が家の老犬も、陽だまりをみつけてすうすう気持ちよさそうに眠っています。時々、わんわんと寝言をいうのがとてもかわいいです。小春日和は、海外にもあります。カナダは「インディアンサマー」、ドイツは「老婦人の夏」、ロシアは「女の夏」というようですが、なぜ、「夏」？ なんでも、緯度の高い国では、夏のほうが快適だからだそうです。日本の夏は……。快適とは言えませんね。

23 日は勤労感謝の日です。この日は、天皇が新しく収穫された新穀を食べて、その年の収穫を感謝する儀式を行う「新嘗祭」という重要な日でした。その「新

嘗祭」と同じ、その年の収穫を感謝する行事が、12月5日に石川県の奥能登で行われています。「あえのこと」といいます。家の主人は、目に見えない田の神様が、まるでそこにいるかのようにふるまいます。そしてお風呂をすすめたり、お食事をさしあげたりします。重要無形民族文化財にもなっています。伝えてほしい行事だと思います。

※「ともいき暦」11月23日、12月5日をご覧ください

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/>

さて、ごはんに漬物がおいしい季節ですが、私は「べったら漬け」が好きです。米麴と白砂糖と水飴でつけてあるので、ほどよく甘くてごはんによくあいます。母の実家では、築地中川屋のべったら漬けをよく食べたそうです。母のべったら漬けの切り方は、縦に切れ目をいれて、幅1.5センチから2センチぐらいの厚さに切ります。けっこうな厚みです。ボリボリと高らかに音をたてて食べます。ところで、私がこどものころ、漬物のことを「おこうこ」と言われたような記憶があります。「漬物」「お新香」「おこうこ」。同じ意味なのでしょう。何人かに聞いてみたら、「おこうこ」は、沢庵のことだと言っていました。さて、どうなのでしょう。いずれにせよ、漬物とごはん。おいしいです。

山茶花がかわいらしく咲いています。♪さざんか、さざんか、咲いた道♪の歌が思い出されます。たき火の風景は、すっかり見られなくなってしまいました。季節は、少しずつ少しずつ、冬の真ん中へと進んでいきます。みなさま、くれぐれも風邪などひかれませんように。

すとうあさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

2020年を迎えるにあたって。ネバーネバーランドをつくろう。

1964年の東京五輪で、突貫工事の挙句に、無残な姿に変わった東京の景観。特に堀や川が高速の一部になり、その上、日本の道路網に起点である日本橋の上に首都高速道路をかぶせたのがその象徴ではないでしょうか。

日本人の誰もがこの醜悪な景観に嫌気がさしていましたが、機能と効率を景観より優先させた結果の産物です。

2020年東京五輪を契機として東京が世界に誇れる美しい首都、世界中の誰もが憧れる成熟都市に近づく第一歩になることを期待しています。

東京の都市づくりはジャパネスク、「ともいき」「ともうみ」「ともさち」を基盤にして考えるべきです。

きっと世界に誇れる、美しい憧れの首都になることでしょう。

世界中の人が日本へ、東京へ行きたいという都市づくり、国づくりを目指すべきです。

ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

●勤労感謝の日

勤労感謝の日は「勤労をたっぴ、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう」を趣旨として1948年に制定された国民の祝日です。

1872年の改暦以前は「新嘗祭(にいなめさい:天皇が新しく収穫された新穀を食べ、その年の収穫を感謝する儀式)」の名で11月の第2卯の日に行われていました。

戦後は皇室典範からこの儀式は除外されましたが、各地の神社での新穀感謝の祭事は続いています

ここで、改めて、国民の祝日が制定された意味と日にちを考えてみませんか？

●一日一回。ともいき暦を。

「ともいき暦」とともに生活しているうちに、太陽、月、生きもの、自然とのかかわりを広く、深く学び、体感し、それが自然の一部である人間にとって、とても大切なことであることを毎年毎年繰り返し感じ取っていくことによって、実感し、その深さはましていくことでしょう。

さあ!! あなたも一日一回、ともいき暦を。

「ともいき暦」はあなたの生きる知恵、生活の知恵です。

ともいき暦に親しみましょう。

日本の風土と生活習慣が見えてきます。

ともいき暦：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/>

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@ptpl.or.jp